

# 地域猫活動は 環境省の指針です

地域猫活動は  
誰にでも始められて、ノラ猫を減らす効果があり  
殺処分などではなく、人道的であることから  
国・県・市も活動をすすめています。

## 動物愛護法の基本指針（略称）

「動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針」より抜粋  
(最終改正：令和2年環境省告示第53号 第2-2-(3) ②講すべき施策)

- ア 住宅密集地等において地域住民の十分な理解の下に飼い主のいない猫への不妊去勢の徹底や給餌若しくは排せつ物の管理等を実施する地域猫活動の在り方に関する検討を加え、適切な情報発信を行うこと。
- イ 生活環境被害の防止や犬又は猫の適正飼養の観点から、所有者等のいない犬又は猫に対する後先を考えない無責任な餌やり行為が望ましくないことについての普及啓発の強化や、地域猫活動に対する理解の促進等を通じ、所有者等のいない子犬及び子猫の発生を防止するための取組を推進すること。

につしん地域猫の会は  
日進市や愛知県動物愛護センターと連携し  
地域猫活動の普及・啓発につとめています。



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



につしん地域猫の会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

令和3年度日進市市民自治活動推進補助金事業

「地域猫活動」で、人と猫が共生できるまちづくり

# はじめませんか ご近所さんと猫対策



## エサやりトラブル



## ウン尿被害



## 鳴き声やケンカ



## ゴミあさり



# ノラ猫問題でお困りの皆さんへ

猫が庭に入ってくる!  
花壇や畑を荒らしていく!  
玄関におしつこをかけられた!  
ケンカや鳴き声がうるさい!

・  
・  
・

なんだか猫がキッカケで  
ご近所が険悪な雰囲気になっているみたい…



昔は猫の放し飼いもあたりまえでしたが  
今では住環境や生活様式、交通事情も異なります。

また、昔ながらの「エサやるな！」では  
猫の数も苦情も減らないことがわかっています。

そこで、誰にでもはじめられて  
効果的にノラ猫の数や苦情を減らしていく  
「地域猫活動」が注目されています。

# 「地域猫活動」で 猫によるトラブルを減らす

完全室内飼いの猫の平均寿命15年に対し、  
ノラ猫の平均寿命は3~5年。

つまり  
今いるノラ猫に避妊・去勢手術を施した上で  
新たな猫の流入を防ぐことができれば  
数年のうちに、ノラ猫の数は必ず減っていきます。

そして  
エサのやり方やトイレの設置など、ノラ猫を管理することで  
猫によるトラブルも減らしていくことができます。

地域住民が中心となって行う  
この取り組みを「地域猫活動」と言います。

## 地域猫活動の4つの柱…



地域によって  
進め方はいろいろ  
少しずつでも  
着実に進めて  
いきましょう

- ① 正しいエサやり
- ② 避妊・去勢手術
- ③ 猫トイレの設置
- ④ 地域住民の同意

# 「エサやり禁止」では 解決できません

猫はナワバリを持つ動物です。  
そして、警戒心がつよく、とても臆病です。  
エサをもらえなくなったからといって  
危険をおかしてまで  
未知の土地へ移動する猫はほとんどいません。  
  
自分のナワバリ内で  
なんとかしてエサを得ようと  
ゴミをあさり、家屋に侵入するようになります。

## 正しいエサの与え方は...

- 毎日決まった時間にエサを与えます
- エサは置きっ放しにせず  
食べ終わるまで待ち、後片付けをします
- 猫嫌いな人にも配慮した場所を選びます



## 正しくエサを与えると...

- 手術の際など、捕獲が楽になります
- よその猫がエサに寄ってこなくなります
- 害虫、カラス、ネズミなどを寄せつけません
- エサを与えられている猫たちが  
自分たちのテリトリーを守るために  
よそからの猫の流入を防ぎます



# 原因は「無責任な飼い主」

ノラ猫は、もともと人間に飼われていた猫たちです。

問題の原因となっているのは「猫を捨てる人」や  
「飼い猫に避妊・去勢手術をさせずに外出させている人」です。

しかし現状は、文句を言いやすい  
「ノラ猫にエサを与える人」に非難が集中しています。

「エサを与える人＝悪」の考えを変えない限り  
いつまでたっても問題は解決しません。



## 猫を飼っている人は...

室内で  
飼いましょう

避妊・去勢手術を  
しましょう

迷子札を  
つけまましょう



動物の遺棄・虐待は

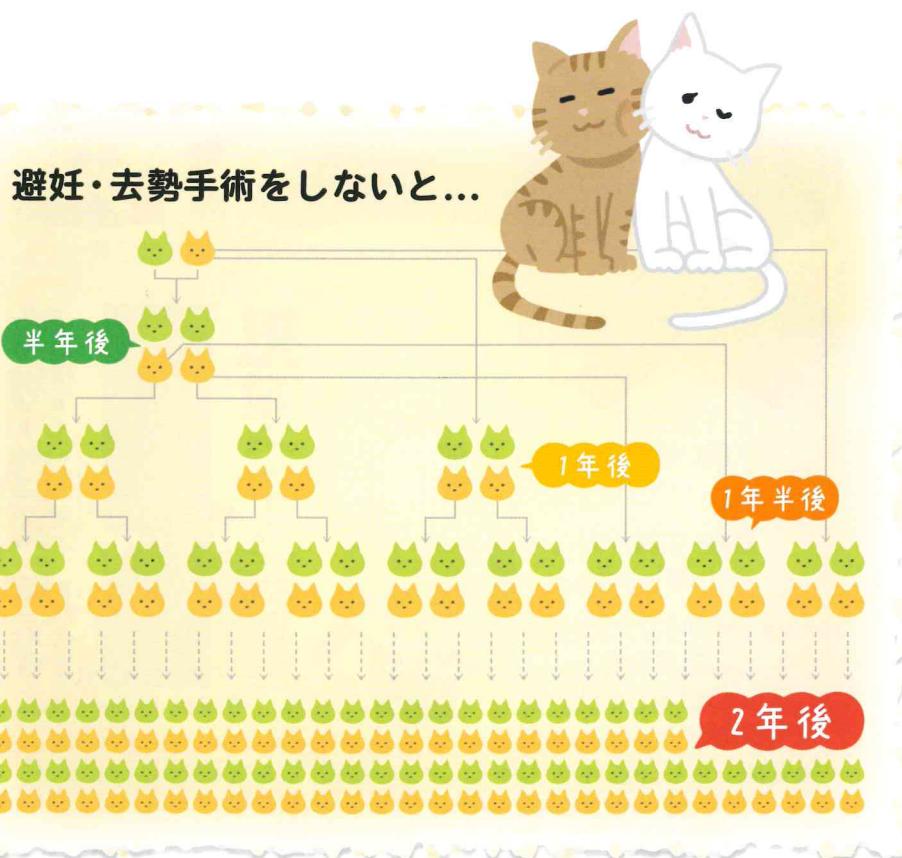
猫を捨てたり、傷つけたりすることは、懲役・罰金刑のある犯罪です  
最後まで愛情と責任をもって飼育しましょう

# 避妊・去勢手術をしましょう

猫の懷妊率はほぼ100%!  
交尾すれば、まず確実に妊娠します。

メスは、だいたい生後5ヶ月頃から  
妊娠が可能になります。

最近は年3回の出産もめずらしくなく  
一度に3~6匹産むことが多いです。



# TNRとは?

「地域猫活動」に欠かせない  
避妊・去勢手術。

一連の流れから頭文字をとって  
「TNR」と呼ばれています。



## 避妊・去勢手術をすると...

- 子猫が産まないので、増えません
- 発情期の鳴き声やケンカが減ります
- オスのスプレー(においの強い尿をかける行為)が減ります

手術済みの猫は  
耳のV字カットが目印



## 日進を美しい街に

猫による苦情で一番多いのが  
「ウン尿被害」

玄関や車におしっこをされたり  
大事な畑や花壇にうんちをされたり…  
誰でもイヤなものです。

エサ場の近くに、簡単な猫トイレを作りましょう。  
掃除も楽になり、被害も減ります。

### 猫トイレを設置すると…

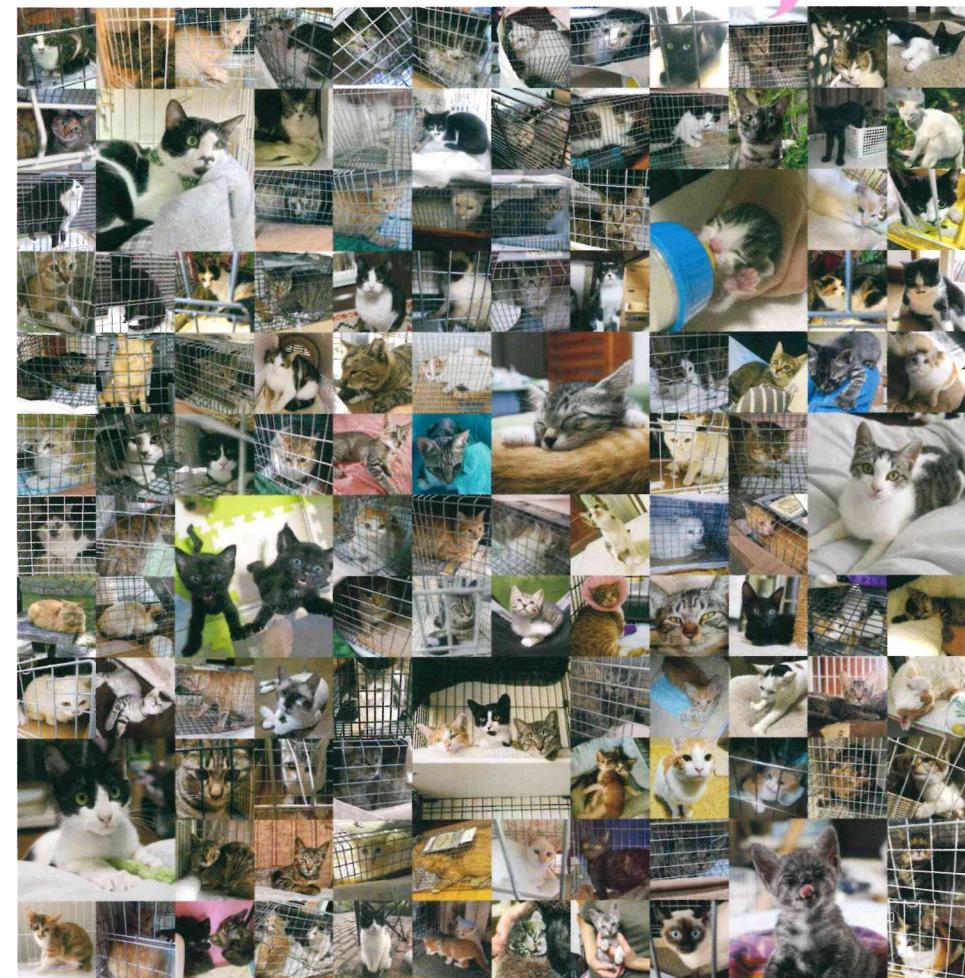
- 周辺のウン尿被害が減ります
- ウンの片付けが楽になります
- 苦情の多いウン尿被害が減ることでまわりの理解を得られやすくなります
- ついでに周辺の掃除も行うことで環境美化に貢献できます



## 地域猫活動は 日進でもはじまっています

ここに写っている猫たちのほとんどは  
地域のみなさんの手によって、避妊・去勢手術を受けたり  
保護されたりした猫たちです。

ほんの一部です



# みんなのために みんなで解決しましょう

地域猫活動とは

「飼い主のいない猫(ノラ猫)」と「人」が共生できるよう  
地域の住民が中心となり、行政やボランティアと協力しながら  
猫によるトラブルを減らしていく取り組みです。



# 「ノラ猫を増やさない、 猫を捨てさせない」まちづくり

## 何からはじめればいいの？

地域により進め方も異なりますので、  
お気軽に行政やボランティアにご相談ください。

まずはエサやりで人馴れしている猫から  
避妊・去勢手術を進めていくのが一般的です。  
「これ以上猫が増えない」という心の余裕が生まれ、  
次のステップに進みやすくなります。

## 避妊・去勢手術費用はだれが出すの？

地域の皆さんで捻出します。  
バザーや回覧板などでカンパや協力を募ってみると、  
身近なところに協力者がいることも。

市の助成金も使えますし、子猫が産まれることで  
増え続けるエサ代より手術代の方が確実に安上がりです。  
どのくらい費用がかかるのか、ぜひボランティアに聞いてみてください。

## なぜ自分たちでやらなくてはいけないの？

「ボランティアにすべてお任せしたい」と依頼されますが、  
それではいつまでたっても「自治力」が育ちません。

単なる猫トラブルの解決だけではなく、  
「地域猫活動」をきっかけに、地域の環境美化、  
助け合いの精神が構築され、自治力が高まることにより、  
人にも環境にもやさしいまちになっていきます。



ご相談は...

<http://nissinchiikineko.main.jp>

Email: nissinchiikineko@gmail.com

留守番電話専用: 050-5436-9114 (お名前とメッセージを残してください)

当会では猫の保護・預かり・治療等はしていません。

